

【トピックス】

● テレワークの実施・推奨も、20代は「郊外移住」より「通勤時間の短縮」：学情

就職・転職サイトを運営する学情は、20代の会員を対象に「テレワーク推奨を受けた、転職志向に関する緊急アンケート」を実施し、調査レポートをまとめた。

20代では、テレワークを実施している人の7割が、通勤時間を短くしたいと回答。「通勤時間を短くしたい理由」のトップは「自由に使える時間を確保したい」であった。また、希望の通勤時間の平均は29分。「15分～30分」と「30分～45分」が同数で最多となった。

調査は、20代専門転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者を対象にWEBアンケートを実施。調査期間は、2020年5月13日～5月18日。有効回答数は542。

[2020年 就職意識調査：学情](#)

● マンション全体で行う新型コロナ対策、「特になし」が最多：つなぐネットコミュニケーションズ

マンション全戸一括インターネット接続サービスを提供するつなぐネットコミュニケーションズは、「マンションにおける新型コロナウイルス感染対策に関するインターネット調査」を実施しました。

有効回答2,560名のうち、62.7%(1,605名)が「自分や家族の感染」がもっとも不安と回答している一方で、51.7%(1,323名)が、マンション全体での感染拡大を防ぐ取り組みについて「特に取り組みを行っている様子はない」と回答した。この結果を受け、同社は、住民の不安や感染拡大の懸念を払拭するためにも、今後のマンション全体での新型コロナウイルス感染対策を行っていくことが急務と分析した。

調査期間は、2020年4月9日～4月26日。調査対象は、同社が運営するマンション居住者向け情報サイト「マンション・ラボ」のアンケート会員約15,500名(10～80代男女)。

[ニュースリリース：つなぐネットコミュニケーションズ](#)

● 約75%の投資家が、今後も積極的に不動産へ投資する考え：JLL

JLL日本法人は、国内外の投資家の皆様を対象に「新型コロナウイルスによる不動産市場への影響」について、オンラインアンケートを実施した。

現在の投資スタンスについて、約75%が積極的に投資すると考えており、引き続き不動産投資への高い関心がうかがえる。（「価格調整があれば新規投資を積極的に行う」：67.2%、「物件のクオリティさえよければ新型コロナウイルス発生前と変わらぬ価格で新規投資を積極的に行う」：7.7%と回答）

物件取得価格水準については、投資家の約9割が「5%以上下落する」と回答した。新型コロナウイルス感染拡大の影響が不動産価格の下落につながり、一定の価格調整があるとみている投資家が多い。

保有物件の売却を検討すると回答した投資家は2.6%（既存所有物件の一部売却検討：1.7%、既存所有物件の売却検討：0.9%）と少数に留まった。不動産への投資意欲が依然として強い一方で、

新型コロナウイルス発生以前からみられた投資対象物件の枯渇した状況が今後も継続すると考えられる。

[ニュース・PR：JLL](#)

● 首都圏中古マンション、1戸当たり管理費は経年化するにつれて下落傾向：東日本レインズ

東日本不動産流通機構が発表した「首都圏中古マンションの管理費・修繕積立金（2019年度）」によると、2019年度に同機構を通して成約した首都圏中古マンションの月額管理費は1㎡当たり平均で189円(1戸当たり1万2211円)、修繕積立金は166円(同1万683円)、合計は355円(同2万2894円)だった。

1戸当たり月額管理費は経年化するにつれて下落傾向にあり、1㎡当たり修繕積立金は経年化するにつれて上昇傾向、規模が大きくなるにつれて下落傾向にある。

[REINS TOPIC：東日本不動産流通機構](#)

● 20代のU・Iターンや地方での転職希望者が増加：学情

就職・転職サイトを運営する学情は、20代の会員を対象に「U・Iターンや地方での転職希望」に関するアンケート調査を実施した。

2020年3月の「U・Iターンや地方での転職希望」は、前月から14.3p増加し、36.1%となった。「U・Iターンや地方での転職を希望する理由」は、「都市部で働くことにリスクを感じたから」が「地元に戻りたいから」に次いで多く、感染への懸念に関する回答がみられた。

調査は、20代専門転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者を対象にWEBアンケートを実施。調査期間は、2020年4月24日～5月1日。有効回答数は361。

[2020年 就職意識調査：学情](#)